

令和7年度

募

集

中

JA研究奨励

JA全中では、JAに関する研究を振興・奨励するため、下記の課題について研究しようとする方に対して、研究費の一部を助成します。ふるってご応募下さい。

特別研究課題

①「農業所得の増大と地域の活性化」を図るJAの戦略的行動について

【解説】

第30回JA全国大会では「組合員・地域とともに食と農を支える協同の力～協同活動と総合事業の好循環～」を主題・副題に挙げている。

社会的な潮流や要請に対応し、農業所得の増大、安全・安心な国産農畜産物の安定供給へのさらなる挑戦とともに、地域社会における生活基盤・コミュニティの維持・持続的発展に取り組む必要があるが、こうした戦略的な取り組みについて、提言いただきたい。

② 現代社会における農業協同組合（JA）の存在意義と役割について

【解説】

国連が令和7年を二度目の国際協同組合年(ICY2025)に定め、持続可能な開発における協同組合の貢献を評価するなど、協同組合に対する社会からの期待は高まっている。一方、世界的な物価高騰による生産資材価格の高止まりが続く中、過疎化・高齢化が進み、営農が継続できるか危機的な状況にある。

改めて、国民に対し「農業協同組合(JA)の存在意義」の理解を求めていくことが重要である。こうした中で、JAグループが提供する価値（「食料・農業への貢献」、「組合員の暮らし・地域社会への貢献」）について、提言いただきたい。

一般研究課題

- ① 農業協同組合または協同組合に関するもの
- ② 協同組合教育の振興に関するもの
- ③ JA全国大会に関するもの

応募の締切

令和7年

6月20日（金）

	特別研究	一般研究
●応募資格	将来とも日本においてJAに関する研究を続ける見込みがある方であれば年齢にかかわらずどなたでも応募できます。 また、グループでの応募においてはJA職員（JA関係研究機関職員を含む）として勤務するまたは勤務した者を1名以上加えることを推奨します。	令和7年5月末日現在45歳未満の方で、将来とも日本においてJAに関する研究を続ける見込みがある方。ただし、大学の教授およびこれと同等の職位にある方は除きます。なお、JA職員の方は年齢は問いません。 また、令和2年度以降助成を受けた方は対象になりません。
	特別研究と一般研究を重複して応募することはできません。	
●研究助成額	審査の上、1件につき100万円以内の範囲で助成します。	審査の上、1件につき50万円以内の範囲で助成します。

- 選考の方法…本会に設置した委員会において厳正に選考します。
- 選考結果の通知…日本協同組合連携機構から応募者へ個別に通知します。
- 研究成果の公表…『協同組合奨励研究報告』に掲載します。

詳しくは『JA研究募集案内』をご覧ください。



●お申込みは／（一社）日本協同組合連携機構 CI・国際・研究チーム 〒162-0826 東京都新宿区市谷船河原町11番地 飯田橋レインボービル5階
☎ 03(6280)7254 HP <http://www.japan.coop/> E-Mail kyodo@japan.coop

一般社団法人 全国農業協同組合中央会 JA全中